

お詫びと訂正

商業 707 準拠『ビジネス・マネジメント ワークブック』に誤りがございました。お詫び申し上げますとともに、下記のように訂正してご使用いただきますよう、お願い申し上げます。

別冊解答

該当箇所		誤	正
p.3	第1章 第2節 イノベーションの重要性③ 応用問題 問2	(1)ア 解説 本冊 p.17 応用問題の問2本文において「日本法人は独立した事業体制であったため、実現することができた。」という記述が正答の根拠となるため。	(1)イ
p.9	第3章 第4節 財務的資源のマネジメント④ 基本問題 問2	(3)○ 解説 先物取引は、将来売買をおこなうことをあらかじめ約束する金融派生商品である。	(3)オプション取引
p.10	第4章 第1節 企業統治 (コーポレート・ガバナンス)② 基本問題 問2	(1)○ 解説 監査役会を設置しなければならない株式会社は、資本金が5億円以上または負債総額が200億円以上の大会社かつ公開会社で、指名委員会等設置会社と監査等委員会設置会社を除いた場合となる。	(1)×
p.10	第4章 第2節 リスク・マネジメント① 基本問題 問2	(1)高い 解説 一般にリスクは発生可能性×影響度で算定ことができ、リスクの発生可能性と影響度を予想できる度合いが低い場合、リスクは大きくなる。	(1)○